

**2020年度神奈川県石油コンビナート等防災本部幹事会
書面会議 各委員からのご意見と県回答**

NO.	資料番号	ご意見	県回答
1	資料1-3 その他	「先進技術を活用したプラント保安に係る実態調査」については、今年度における実施内容の検討及び来年度における神奈川県高圧ガス保安協会への委託を見送ることとしたとのことだが、見送るとはどういうことか。	当該事業について、令和4年度以降に、ゼロベースで実施の必要性等から再検討するものです。
2	資料1-2	<p><修正依頼> P4「行政機関による防災対策の充実」【情報発信】最終行 現行)川崎市…防災講座などを実施しています(2020年度…、新型コロナウイルス感染症等の影響により11月末現在未実施) ↓ 修正案)川崎市…防災講座などを実施しています。 (2020年度については、新型コロナウイルス感染症等の影響により次年度へ延期)</p>	修正案のとおり修正させていただきます。
3	資料1-3	<p><質問> 「2 見送る理由」にて、「予算が来年度以降大幅削減」との記載がありますが、コロナ対策が理由なのでしょう。また、2022年度以降は予算復活等の見通しは厳しいのでしょうか。削減の背景・今後の見通しも含め、お示しいただけますでしょうか。</p>	<p>【予算削減の背景等】 ○新型コロナウイルス感染症対策として、医療提供体制維持等の対策に重点的に財源を配分するという方針から、抜本的な事業の見直し等により大幅に予算が削減されることとなりました。 ○令和3年度予算案では令和2年度比18.6%減(石油コンビナート等災害対策推進費)となっています。</p> <p>【今後の見通し】 ○予算に関しては、引き続き感染症の影響により、県歳入が減少する見込みであるため、厳しいのではないかと考えております。</p>
4	資料2	<p><要望> 「Ⅱ 取組概要 1 特定事業所の予防対策の促進 ② 国要望」 本市でも「石油コンビナート地域の強靱化」を国への予算要望として実施しておりますので、県要望とも連携して実施出来ればと考えます。</p>	要望の際には適宜、可能な部分については、関係機関とも連携しながら実施してまいります。また、九都県市首脳会議による提案については、引き続き連携して実施してまいります。
5	資料2	<p><意見> 「Ⅱ 取組概要 3 県、横浜市、川崎市との連携強化」 防災訓練・立入検査の2項目でございますが、一昨年の高潮浸水想定図の公表、昨年の羽田空港機能強化、現在のコロナ対応等、今後も県に広域調整をしていただく役割が必要不可欠でございますので、その観点も追記いただけないでしょうか。 ※検討会(課長級)でも意見し、「広域調整の役割を担う県として、引き続きしっかりと連携して対応していきます。」との返答をいただいておりますが、来年度以降の県石油コンビナート防災本部各種会議等において、県には状況把握、情報発信等、関係機関で連携して対応いただく様に要望いたします。</p>	<p>○資料2の取組方針案の連携強化の項目については、先般の調整会議で合意した内容について記載させていただいております。</p> <p>○ご要望いただいた内容については、承知しました。広域調整、関係機関との連携などしっかりと対応してまいります。</p>